

令和5年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟に個人差がある。 誤った助詞を使ったり、助詞を抜いた文を書いたりすることがよくある。 文章を読んだ感想を書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時に挿絵や写真を効果的に用いて興味関心を高めたり、想像力の幅を広げたりできるようにする。 読書の習慣を身に付ける。 積極的に新出漢字を使ってノートをとったり文章を書いたりする。正しい助詞を意識した文章を書く。 感じたことを友達と交流する機会を多く設定する。 	B	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算力に個人差がある。 数量や単位の間違いがよく見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いて実際に計測したり、手本を示したりしながら量感を捉えられるようにする。 既習事項の問題に取り組む時間をとり、基礎的な計算力が身に付くようにする。 授業のはじめに100ます計算に取り組むなどして反復練習をする。 	B	B
生活	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことや気付いたことを表現する力に個人差がある。 地域の人々との交流を通して、自身の地域に興味をもったり、自身の地域の良さや思いや願いを考えたりする活動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ」などの体験を通して児童一人一人の気付きを大切にする指導を行う。 気付きや考えたことは、言葉や絵、動作などの様々な方法で表現できるような指導を行う。 	A	A
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカでは、指使いにつまずくことがある。 曲に合った歌い方や弾き方ができる児童が多くいるが、リズムや拍に気を付けて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本の指の置き場所などを意識して、繰り返し練習に取り組む。 曲のリズム「タン（ウン）」などを目で見て分かるように掲示物で示す。 曲に合わせて体を動かしたり手拍子をしたりしながら音楽を聴いたり歌ったりする活動を積極的に取り入れる。 	B	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 糊を適切な量で正しい場所に使うこと、角と角を合わせて紙を折ること、絵の具を使うときに適切な水の量や絵の具の量を使うことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を活用して視覚的に分かりやすくしたり、折り紙や他教科の授業等でワークシートを貼ったりするなど練習する場を増やしていく。 	B	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間にはほとんどの児童が外へ出でずすんで友達と遊ぶ様子が見られる。しかし、体育の授業内において、友達と関わり合って運動することに喜びを感じている児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で様々な運動遊びと出会い、体育への意欲を高めることができるようにする。 運動との多様な関わり方の中で、「知る」や「する」のみならず、「見る」（友達のよい動き）「支える」（励ます声掛け）を意識した指導を行う。 授業内や学習カードを活用した振り返りを行い、次時の目標を立たせるなどして目的意識をもたせる。 	A	A

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。